

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者 / 編 集 者	出 版
教育・経営管理		
いちばんわかる！ 学校DX事始め "NEXTGIGA"に備える基礎知識&実践ガイド	玉置崇	ぎょうせい
ハラスメント防止と社内コミュニケーション ～誰もが安心して働ける職場を目指して～	波戸岡光太	日本生産性本部 生産性労働情報センター
社会福祉・障害児教育		
障害者差別解消法と実務対応がわかる本 改正法で民間企業による合理的配慮の提供が義務に	水田進	中央経済社
震災後を生きる13人の物語 フクシマ、能登、そしてこれから	藍原寛子	婦人之友社
日本のインクルーシブ教育とは 発達障害・共生社会・特別支援のこれから	野澤和弘・ 植草学園大学発達教育学部	ぶどう社
地方自治		
地方議会のホントとホンネ	上島義盛、牧瀬稔	東京法令出版
その他		
移住で地方を元気にする IT社長が木の会社を作った理由	かくまつとむ	小学館
弁護士と考えるAI×著作権 AIの作品は誰のもの？	竹居信利、橋祐史	技術評論社
路面電車の神様、 広島から宇都宮へ奇跡が見つないだ14.6キロ	山中利之	JTBパブリッシング
2050年再エネ9割の未来 脱炭素達成のシナリオと科学的根拠	安田陽	山と溪谷社



すもも



今年の梅雨明けは驚くほど早く暑い日が続いていますね。今の季節、夏ばて防止に良いと言われる食べものはさまざまありますが、この果物は見ているだけで元気をくれます。

先日、友達に誘われ、すもも狩りに行ってきました。

人生の半分を過ぎた私、最近は何でもチャレンジしておこうと思うようになり、すもも狩りにも進んで行きました。

山あいを流れる涼しげな川の音を聴きながら細い坂を上ると、ぱっと視界が開け、そこには思わずわーっと声を出してしまうほどの美しい景色が広がっていました。木々の濃い緑の葉に日の光を浴び輝くすもも、心地よい風が枝の先のすももをゆらしています。

少し腰をかがめ、果物に傷がつかないように軸の近くを優しく持ち、ひねるように収穫します。甘酸っぱい香りに我慢ができず、もぎたてをいただきました。果汁があふれ一緒に収穫に来ていた人たちと、なんておいしいのだろうと喜びを共有しました。

すももの収穫時期は品種により差があり、最盛期は6月中旬から8月まで続きます。

品種は日本すももと西洋すももの2種類に分別され、日本すももには更に多くの品種があります。

和歌山県では主に4種類が栽培されています。

和歌山の温暖な気候に恵まれ育つ、すももの生産量は全国トップクラスです。すももは皮の部分に酸味があり、それがアクセントになっています。皮にポリフェノールなどの栄養が多く含まれており、眼精疲労や日焼けによるダメージの軽減、美肌効果も期待できます。

山から帰り、その日のうちに友人や親類にすももを届けたところ、すももを見直したと感動のメッセージが届きました。

フルーツ王国和歌山と言われて久しいですが、周りを見ると、地元の旬の果物を積極的に摂っている人が、私の子供の頃と比べ減っているように思います。

この夏を乗り切るアイテムとして地元の果物を積極的に五感で味わいたいものです。

